【俳句で季節を感じよう　特別編】

四季いい色では平成29年6月1日発行号から【季語】【時節の言葉】【季節の食べ物】などが入っている「俳句」を紹介しております。
日本には情緒あふれる素晴らしい俳句が多数存在します。俳句を通じ読者の皆様に季節を感じて頂けると幸いです。

※俳句とは5･7･5の3句17音からなる定型詩で季題によって自然の風物･人事を詠んでいます。

◆今号は【新年】の季語が入った俳句を紹介します◆

俳　　句	季語	作　者	意　　味　・　情　　景
元日や　手を洗ひをる　夕ごころ	元日	芥川龍之介 1892～1927	元日は朝から出かけ午後には来客が途切れず忙しい日だ。合間に手を洗いながら外を見るともう夕方になり雰囲気が一変していた。今年の元日もこうして終わるのかと思うと少し淋しい気がする。
屠蘇酌むも　わらぢながらの　夜明けかな	屠蘇	小林一茶 1763～1828	屠蘇を祝うのも慌ただしい元日の夜明けの旅立ちであることよ。 草鞋を履いたまま屠蘇の盃を受けている。
人並みに　若菜摘まんと　野に出でし	若菜	高浜虚子 1874～1959	世間でみんながやっているように私も春の七草を摘もうと野原に出ましたよ。
新年の　白紙綴じたる　句帖かな	新年	正岡子規 1867～1902	新しい年になったので白紙を束ねて綴じた新しい句帖（作区を記す手帳）を用意しました。気持ちが改まるものです。
日本が　ここに集まる　初詣	初詣	山口誓子 1901～1994	神社やお寺では人出が多く賑わっています。 まるで日本中の人がここに集まっているかのようです。
膝に来て　模様の満ちて　春着の子	春着	中村草田男 1901～1983	華やかで美しい春着を着た幼い子供が甘えるように膝によってきました。 ※春着とは正月に着るために新調した衣服、または正月用の晴れ着のこと。

お正月には欠かせない【お雑煮】のお話

お雑煮とは年神様に供えた餅を神棚から下ろし、そのご利益を頂戴するために作った料理です。
昔から若水（元旦に初めて汲む水のこと。これを飲むと1年の邪気が祓えるといわれています）で煮るしきたりがあるそうです。
お雑煮の起源は室町時代にさかのぼります。室町時代の武家社会の中ではお正月を問わず儀礼的な宴で出されたのが始まりだとか。
本膳料理の前菜としてお酒を飲む前に胃を安定させるために食べた煮物で、臓腑を保護・保養することから「保臓（ほうぞう）」と呼ばれていたそうです。それが江戸時代にお餅を入れて雑多（色々混じり合っているもの）なものを煮込む「雑煮」となり現在に至ります。
雑煮に入っているお餅は良く伸びるので「長く生きる」という長寿の意味も込められています。また、お餅の形にも意味があり【丸い餅＝丸】で家庭円満の縁起を、【四角の餅=のし餅】で敵をのす（退治する）という縁起を担いでいます。
雑煮に入っている具材にも意味や縁起担ぎがあります。また、具材や出汁も地方によって違いがあるそうです。

青菜		「菜・鶏」＝「名取」として 【敵に勝って名を上げたい】という縁起担ぎ。
鶏肉		
蒲鉾		元日の日の出を表し縁起が良い。
大根		丸い形なので【輪】に通じる。（割れない）

汁の違い	東日本は【すまし汁】仕立て。西日本は【白味噌】仕立て。
餅の違い	東日本は焼いた角餅。西日本は茹でた丸餅。
正月祝い箸について	両方の先端が細くなっていて「両口箸」とも呼ばれます。一方は神様用、もう一方を人が使うためで【神人共食】を意味しています。

元日から3日にかけて毎日お餅を一つずつ増やしていくと「食い上げる」といって縁起が良いといわれています。意味を知ると一層美味しく頂けるかもしれませんね。

今年の干支　亥（猪）

■亥年の特　徴■熱心で勇気がある人が多いそうです。
しっかり自分を持ち、一本芯が通っていて物事をやり遂げる力があり、裏表がない
そうです。反面、頑固で融通が利かないところもあるのだとか…。

■亥年の縁起話■猪はたくましく多産で「子孫繁栄」につながる縁起の良い動物といわれています。

～亥年の由来～

十二支の十二番目で「亥」は「い・がい」と読みます。
「亥」は象形文字で、イノシシ・豚の骨格を描いたものが元になっていますが「骨格」「骨組み」というのが元々の意味だといわれています。
草木の生命力が種の中に閉じ込められた状態を表しているとされています。

～亥（猪）の豆知識～

日本では「猪」の字は「イノシシ」という意味ですが、中国では「ブタ」を意味しています。もともと、猪と豚は生物学的に大きな違いはなく豚は野生の猪を飼いならして家畜化させた生き物だと言われています。
猪は「猪突猛進」という言葉があるように、山の奥深くを前だけ向いてまっすぐ突き進んでいるようなイメージがありますが実際は方向転換が得意なのだとか。
また、足の速さは時速45km/hとも言われています。
猪は頭が良く、泳ぎも上手でジャンプ力もあり餌のある場所をうまく見つけて暮らす知恵者だといわれています。猪の好物は稲（米）や芋などで人間のいる平地に現れ農作物を荒らすいたずら者でもあるようです。しかし、どことなく憎めない愛嬌のある外観からか猪を守り神とする神社があったり、伝説や神話などにも登場したりするなど昔から親しまれている動物です。猪の子供には生後三ヶ月くらいまで瓜のような縞模様があり「うり坊」と呼ばれその姿は愛くるしいものです。

～亥（猪）にまつわることわざ～

ことわざ	意　　味
猪突猛進	前後のことを考えずに猛烈な勢いで突き進むこと。 周りへの配慮や反省無くがむしゃらにやり抜くこと。
猪見て矢を引く	事が起こってからあわてて対策を講ずること。
山より大きな猪は出ぬ	入れ物よりも大きな中身などあり得ないというたとえ。また大げさな言い方も程々にしろということ。
馴染みては猪の子も可愛	近くにいて慣れ親しむと情が移って可愛く思えるということ。

2019年も
道新ぶんぶんクラブ
をどうぞよろしく
お願い致します。

北海道新聞のキャラクター
ぶんちゃん

今年も　たくさんのイベントを
紹介してまいります。
どうぞ　お楽しみに！

地域のイベント情報

神山児童館

新春お楽しみ会
日時　1月12日　10時～
内容　正月遊び・お汁粉会食　など
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

工作教室
日時　1月9・17日　13時半～
対象　小学生10名
冬休みの作品作りに取り組みましょう。
※どちらも詳しくは児童館にて

美原児童館

鏡開きの会
日時　1月12日　13時半～
内容　ゲームと会食
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

楽しいパン作り教室
日時　1月19日　10時～
※どちらも詳しくは児童館にて

赤川児童館

冬休み工作
日時　1月11日　10時～
内容　親子でロゼット作り
定員　10組
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

新春お楽しみ会
日時　1月19日　13時10分～
内容　ゲームなど
定員　50名
※どちらも詳しくは児童館にて

山の手児童館

新春お楽しみ会
日時　1月12日　13時半～
内容　ゲーム・おやつパーティー
定員　30名　参加は無料
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

冬休み工作
日時　1月8～11日
内容　ペットボトルのけん玉作り
※どちらも詳しくは児童館にて

鍛冶沼児童館

鏡開き
日時　1月11日　13時～
内容　ゲームと会食
※詳しくは児童館にて

神山町会

三世代交流新春餅つき大会
日時　1月13日　10時半～
場所　神山町会館
お餅をついて、丸めてお雑煮やお汁粉、きなこ餅にして食べましょう。

★児童館からお知らせ★
児童館は1月3日までお休みです。
1月4日から通常開館です。